

「研究成果報告書」 科研費電子申請システム提出時チェックリスト(機関管理)

このチェックリストは科研費電子申請システムにて「研究成果報告書」等の提出にあたり、特にご確認いただきたい点をまとめたものです。

※本チェックリストと併せて科研費ハンドブック(研究機関用)または本会HP掲載の「作成上の注意」もご覧ください

1.研究成果報告書提出予定研究課題一覧(科研費電子申請システムにて確認)

チェック	項目	チェックの観点	
	備考欄	現状(3)が選択されている。このままでは研究者が作成できないため削除が必要。	

選択	課題番号	研究種目	版	学振受付期限	申請者名	部局名	研究者番号	研究課題名	作成日	部局提出日	所属研究機関提出日	研究成果報告書確認	処理状況	備考
			0版	2023年6月30日									未作成	(3) 修正 削除

「削除」ボタンにて備考の削除を行う

2.研究成果報告書(様式C-41)

チェック	項目	チェックの観点	よくある間違いの例
	ページ	白紙のページがないか。	白紙ページが含まれている。
	研究成果の概要・本文	文字化けが発生していないか。	「&*****(*は数字)」となつて表示されている。 ※JIS第1・第2基準以外の文字が使用されている可能性
	2ページ目冒頭	2ページ目の冒頭に、緑がけ部分(現在はシステム入力にて作成し1ページ目に表示される)が貼付されていないか。	システム上でアップロードする様式(2ページ目以降)が旧様式を使用している(旧様式は緑がけ部分から始まる)。様式はHPから取得可能。
	様式	改変等行っていないか。	システム上でアップロードする様式(2ページ目以降)が二段組み等、別様式になっている。 システム上でアップロードする様式が3ページ以上になっている。 項目番号1. ～2. 以外に項目が追加されている。 また、項目名が変更されている。
	様式	「○以下の留意事項の内容を十分に確認し、作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○」という留意事項を記載したテキストボックスを削除しているか。	当該テキストボックスを残したまま作成されている。
	フォント	所定(原則10ポイント明朝体)のフォントで作成されているか。	特殊なフォントや色文字を使用している。不自然に大きい文字で作成されている。
	余白・行間	不自然な余白設定・改行が行われていないか。	作成時に余白や行間の設定変更が行われている。項目と項目の間の改行が不自然に多い。
	本文	日本語で作成されているか。	英文や他言語にて作成されている。
	本文	図がある場合は、正常に貼り付けられているか。	図が欠けている、文章に重なっている、不鮮明である。
	本文	研究組織(研究協力者)の項目が正しく記載されているか。	